

なめらかなお金がめぐる社会。  
あるいは、なぜあなたは小さな経済圏で生きべきなのか、という  
こと。



発売日: 2017年8月25日  
出版: ディスカヴァー・トゥエンティワン  
著者: 家入一真  
ページ: 148

「お金がすべて」の社会のその先に。  
クラウドファンディング、恩送りの社会。  
資本主義のアップデートが始まる。  
今、家入一真が伝えたい、新しいお金、経済の姿。

ささやかな助け合いから生まれる小さな物語が、クラウドファンディングの現場では日々、  
誕生している。  
グローバル経済や商業主義、会社、学校などの既存の大きな仕組みを「大きな経済圏」と呼  
ぶならば、  
個人レベルでつながりを持ち、支え合うコミュニティを僕は「小さな経済圏」と呼びたい。  
そして、この「小さな経済圏」こそが、何かと生きづらくなった現代で、新しい生き方の鍵  
を握っているのだ。  
(「はじめに」より)

## 目次

- 第1章 「いい社会」って何だ?
- 第2章 21世紀型の生き方と「小さな経済圏」の試み
- 第3章 小さな灯をともし続ける
- 特別対談1 家入一真 × pha 「次の時代の生き方論」
- 特別対談2 家入一真 × 谷家衛 「行きすぎた資本主義とCAMPFIREの役割」

<https://rapidgator.net/file/79dd936005c39ffd40abc3f719c140e9/QWQv9JWsz.pdf.rar.htm>

!